

事業承継を機会に、法人を設立し 10年の親子共同経営を発展させる

株式会社光
〈魚ダイニング光〉

飲食業

企業情報

- 代表取締役: 竹綱 文啓
- 本社住所: 大阪府阪南市自然田820-2
- 創業年: 2002(平成14)年
- 設立年: 2012(平成24)年
- 資本金: 100万円
- 従業員数: 3名
- 業種: 飲食業、魚料理



専門店の雰囲気を出し出す

江戸時代から続く 魚問屋から材料仕入

2002(平成14)年、阪南市で江戸時代から続く、魚卸業「藤左衛門」の親族である現代表の母が、個人事業として、魚料理を中心とした飲食店を、当時17歳の現代表と二人三脚で始めたのが、株式会社光の前身の「食菜魚光」である。

開店当初は、日々の業務に忙殺されており、集客方法や料理の盛り付けなど、店舗の運営方針について、親子間での意見の食い違いが多くあった。しかし、二人で激論を交わしながら、「お客様が食べていただければ、売上が見込める」との信念のもと、周辺の飲食店では珍しかった「おかわり自由」や「食後コーヒー無料」などのサービスに取り組み、口コミを中心に来店客数が増えるなど、徐々に軌道に乗り始めた。

10年間、事業に関して日々議論を重ねる中で、業務に忙殺されて流されるのではなく、しっかりと立ち止まって方針を考えることが大切との思いから、「忙しい時こそ、手を止めて考える」を二人の運営方針に定めていた。この運営方針は、新たなチャレンジに向けて取り組む二人にとって、事業承継を大きく前進させるきっかけとなっていた。

事業承継を機会に 店舗コンセプトを改変

さらに、より良い料理やサービスの提供を考える中で、若年層の取り込みなど顧客層の拡大を図りたいと考え、店内レイアウトやデザインの変更などを計画した。ちょうどその事業資金の借入の必要性もあり、法人設立へと至った。

2012(平成24)年、母が61歳、現代表27歳の時、母の個人事業を廃業し、新たに株式会社光として、法人を設立、竹綱文啓氏が代表取締役に就任した。これまでも、二人三脚で飲食店を経営してきたことから、お互いの役割分担を明確にし、経営者として事業を引継ぐにあたり、問題になることは少なかった。

法人化して6年が経過した今、30歳以上の女性へと顧客層が広がり、客単価の増加も実現した。事業承継をきっかけとして、互いに課題に感じていた内容について改革を行った。

現代表は、地域の人においしい魚料理について興味をもってもらうため、阪南市商工会が実施する「まちゼミ」に6年前から参加し、自ら新鮮な魚の見

分け方やさばき方などをレクチャーし好評を得ている。そして、その参加者が新規顧客につながるなど、地域の支援機関の施策をうまく活用している。



広告物にも力を入れる



新鮮な魚料理が手ごろな値段で食べられる店として地域に定着した。現状の規模で、料理とサービスの向上に注力していきたいと考えている。ただ、良い材料からできる料理を食べてもらうための工夫は常に実践し、変化させていきたいと思う。「忙しい時こそ、手を止めて考える」ことを大切にしている。



事例の着眼点

- 個人事業から法人成りしたことが事例の視点
- 特に日々多忙な飲食業において、将来にわたる事業計画やどのように引き継ぐかなど、早い段階から準備することが必要
- 親族内承継においては、経営者としての側面と家族としての側面があり、感情的な対立が生まれることもある
- 創業当初より二人三脚で事業に取り組んできたことから、コミュニケーションが密に取られており、将来の方向性についてお互いに一致している



事例企業が 活用できる施策

- 商工会・商工会議所等が実施するセミナーやイベントへの参加
- 商工会・商工会議所等の経営指導員や事業承継相談デスクへの相談
- 大阪府事業承継ネットワークの承継コーディネーターやブロックコーディネーターへの相談や専門家派遣事業の活用